



夏期スクーリングが行なわれました



去る7月23～25日の3日間、本学院にて夏期スクーリングが行なわれました。

北海道から岐阜県、大阪府、兵庫と全国各地から11名の通信教育の皆さんが参加されました。スクーリング初日は、参加者の皆さんは少々緊張気味ではありましたが徐々に慣れてきて、互いに自己紹介をされていました。午後からの調理実習では各料理の担当を決め、お互いに協力しながら和気藹々とした雰囲気の中で薬膳料理を作っていました。特に2日目の黒豆入り餃子は、餃子の皮を小麦粉から捏ね、参加者全員が劉先生や安里先生の手解きを受けながら上手に皮を伸ばし、そして具を包み、自分で作った餃子の出来栄にあちこちで歓声が上がっていました。最終日には、アドレス交換をするなど仲間意識が一層深まり、一人で学習を進めていくことは、不安でもありますが共に学ぶ仲間も増え、参加者の皆さんは笑顔に満ちておりました。教科書などが詰まった大きな荷物を抱え、学院を後にされていました。これを機に、また薬膳学や中医学に新たな興味がわき一層楽しくなったのではないのでしょうか!?連日の猛暑にも負けず3日間のスクーリングを無事に終えられた皆さん、本当にお疲れ様でした!!



『夏期スクーリングに参加して』

通信教育コース 高井 紀子

夏期スクーリングに参加した皆様、元気にしていますか？

北海道・大阪・岐阜・関東地方等各地域の人が参加した東京の3日間は、とても暑く、また熱い夏の思い出です。

私は現在2歳の娘を持つ主婦なのですが、私が中医学を学ぶきっかけとなったのは、30歳の時「赤ちゃんが欲しいな」と思い、「できれば健康な体で元気な赤ちゃんを出産したい」と願い、本草薬膳学院の卒業生の方の所へ、子宝養生の講座に夫婦で参加したことです。産後も体調が優れない日々もあり「家庭でできる薬膳を取り入れながら、家族の健康を守っていききたい!」と思い、当時娘はまだ1歳でしたが、思い切って通信教育コースを申し込みました。

でも、普段は主婦の私。東京で3日間も皆と仲良くやっていたらと不安でした。しかし、同じ志を持って参加する人達が集まるのだから、あまり気負わずに楽しみたいと思うようになりました。初日の朝、ビルの入口で劉先生にお会いしました。エレベーターが一緒になったのです。劉先生がとてもニコやかに「通信コースの方ですか?頑張りましょう!」と言って下さったので緊張も解け、とても充実した3日間をスタートさせることができたのだと思います。私は中国の歴史が大好きなので、劉先生が講義の間に挟んでくれる中国文化の話はとても興味深く、楽しかったです。受講生の皆さんとも休憩時間や調理実習で色々な話をする事ができ、様々な活動をされている方と交流して、久しぶりに人としての幅が広がり、何事もまずは行動を起こしてみることが大事だという気持ちになりました。

また、安里先生のおよやかな雰囲気には本当に和まされ、初日は少し遠慮していた調理実習も最終日にはみんな積極的に、そして一つひとつの作業を大切に参加していたと思います。

3日間の体験は何事にも変え難い、これからの自分の人生にとっても良い影響を与えてくれたものでした。また、一人の女性としての生き方も考える貴重な機会でもありました。今後は自分のペースで薬膳を生活に取り入れ、中医学と関わっていけたらと思っています。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。そして、また再会できる日を楽しみにして、国際薬膳師の試験を目指して頑張っていきたいと思っています。

土用の丑を間近に控えた猛暑日、北は北海道、南は神戸から総勢11名の通信教育仲間が本草薬膳学院に集結しました。体質の根本改善と薬膳茶に少し興味がある程度の普通の会社員が、通信教育を始めてはや5カ月。はじめは中医学が目新しく、張り切ってテキストを読み進めましたが、すぐに「はて、この膨大な内容にどう向かったらいいのか」と途方に暮れました。そんな時、スクーリングの機会がやってきました。

午前を中心に劉先生から、中医学、薬膳学の基礎講義を受けました。先生の板書には無駄が無く、一つの点が流れる様に四方に伸び、陰陽五行学説、蔵象学説の理論がみるみる線となって、上昇する螺旋を描いて行く様な美しさでした。人と自然が一体となり正しくその恵を取り込めば、自身がその仕組みの中に入って行けるのだと思うと、中国1万年、先人が積み重ねて来た歴史の壮大なエネルギーを感じました。薬膳メニュー作成の講義では、便秘の薬膳を例に立膳のコツを教わりました。その分析に始まり、弁証、立法と、言葉を読み解く文学的な楽しさも味わいました。便秘がちな友人を何人か思い出すと、合点がいく事多々。点が線になっていく瞬間でした。午後からは安里先生ご指導のもと、調理実習です。夏の薬膳、老化防止の薬膳、冷え性の薬膳に挑戦しました。珍しい素材や中薬の匂いがかいだり、味見をしたり、打ち解けた仲間と情報交換もしつつ助け合う中、できあがった料理はまさに栄養、これで夏バテ知らず美味しく頂きました。回のスクーリングでは、私のとんちんかんな質問にも劉先生は丁寧に答えて下さり、混乱していた情報の整理ができました。「ストーリーをもって生まれてくる薬膳って、おもしろいなあ」そう改めて感じる事ができ、一つでも多くこの薬膳(茶)を作りたいと目標がはっきりとしてきました。何よりも先生方や、それぞれに活躍されている素敵な受講生の皆さんとの出会いは、尻込みしそうな私を奮い立たせて下さいました。あつという間の3日間、先生、皆さんに本当に感謝します。また、一人でも多くの方と再びお会い出来る日を楽しみに勉強したいと思えます。ありがとうございました。



「あつという間の3日間」

通信教育コース 小倉ちはる